

2-6 病弱養護学校の教育課程類型と人数・自立活動時数の実態

武田鉄郎 石川政孝 大崎博史 後上鐵夫

2-6-1 病弱養護学校における教育課程の類型の実態に関する結果と考察

表2-6-1に示すように病弱養護学校において「学年相応に準ずる教育課程」を設けているのは、小学部で77校中71校（92.2%）中学部で78校中76校（97.4%）高等部で43校中37校（86%）であった。「下学年適用による教育課程」を設けているのは、小学部18校（23.4%）中学部で19校（24.4%）高等部で13校（30.2%）であった。「知的障害養護学校の教育課程」が、小学部で34校（44.2%）中学部で26校（33.3%）高等部で25校（58.1%）と、30%～60%の割合で設けられていた。自立活動を主とする教育課程を設けているのは、小学部で30校（39.0%）、中学部で25校（32.1%）、高等部で20校（46.5%）で、高等部における設置率が高かった。また、訪問教育による教育課程は小学部34校（44.2%）、中学部が27校（34.6%）、高等部20校（46.5%）であった。

以上にみられるように、学年相応に準ずる教育課程が中心であることが明らかにされた。しかし、「知的障害養護学校の教育課程」を設けている学校が高等部で60%近くことが明らかにされ、「自立活動を主とする教育課程」よりもその割合が多いことが明らかにされた。学部間比較をみると、「知的障害養護学校の教育課程」「自立活動を主とする教育課程」については、小学部や中学部より高等部の割合が高くなっていることが明らかにされた。

2-6-2 病弱養護学校における教育課程の類型ごとの児童生徒数の実態に関する結果と考察

表2-6-2に示すように教育課程の類型ごとの児童生徒数をみると、「学年相応に準ずる教育課程」が58.2%と最も高く、それ以外では「自立活動を主とする教育課程」を設けている割合で19.0%、ついで「知的障害養護学校の教育課程」が12.5%、さらに「下学年適用による教育課程」が8.5%であった。各学部間で比較してみると、中学部において「学年相応に準ずる教育課程」で学ぶ児童生徒数が65.2%と高く、その分「知的障害養護学校の教育課程」で学ぶ数が8.6%と、他学部に比べて低い値を示していることが明らかにされた。

2-6-3 教育課程の類型ごとの自立活動の週平均指導時数に関する結果と考察

表2-6-4に示すように「学年相応に準ずる教育課程」については、小学部3.1時間、中学部3.3時間、高等部4.8時間であった。「下学年適用による教育課程」については、小学部5.8時間、高等部で6.8時間と中学部の2.8時間に比して多いことが明らかにされた。一方、「知的障害養護学校の教育課程」については、小学部4.6時間、高等部4.8時間に対して、中学部6.0時間と他学部にくらべて多いことが明らかにされた。自立活動を主とする教育課程については、14から17時間の時間をあてていることが明らかにされた。

表2-6-1 病弱学校における教育課程の類型（小・中・高等部）

		学 年 相 応 に 準 ず る 教 育 課 程	下 学 年 適 用 に よ る 教 育 課 程	知 的 障 害 養 護 学 校 の 教 育 課 程	自 立 活 動 を 主 と す る 教 育 課 程	訪 問 教 育 に よ る 教 育 課 程	通 信 に よ る 場 合 の 特 例 に よ る 教 育 課 程	そ の 他	有 効 回 答 数
小学部	学校数	71	18	34	30	34	-	10	77
	構成比 (%)	92.2	23.4	44.2	39.0	44.2	-	13.0	96.3
中学部	学校数	76	19	26	25	27	-	5	78
	構成比 (%)	97.4	24.4	33.3	32.1	34.6	-	6.4	97.5
高等部	学校数	37	13	25	20	20	-	6	43
	構成比 (%)	86	30.2	58.1	46.5	46.5	-	14.0	53.8

※ その他は、項目として挙げた他に教育課程の類型があり自由記述で回答のあったものであり、今回その中身については分析していない。

表2-6-2 病弱養護学校における教育課程の児童生徒数

		学 年 相 応 に 準 ず る 教 育 課 程	下 学 年 適 用 に よ る 教 育 課 程	知 的 障 害 養 護 学 校 の 教 育 課 程	自 立 活 動 を 主 と す る 教 育 課 程	そ の 他	合 計
小学部	人数	624	55	132	308	21	1140
	構成比 (%)	54.7	4.8	11.6	27.0	1.9	100
中学部	人数	837	130	105	133	17	1222
	構成比 (%)	68.5	10.6	8.6	10.9	1.3	100
高等部	人数	453	96	174	184	20	927
	構成比 (%)	48.9	10.4	18.8	19.8	2.1	100
合計	人数	1914	281	411	625	58	3289
	構成比 (%)	58.2	8.5	12.5	19.0	1.8	100

*訪問教育による教育課程の人数を4類型に含む

表2-6-3 教育課程の類型ごとの児童生徒数（小・中・高等部）

		課準学 程ず年 る相 教応 育に	課に下 程よ学 る年 教適 育用	育護知 課学的 程校障 の害 教養	育主自 課と立 程す活 る動 教を	合 計	訪問教育による教育課程				そ の 他	合 計
							教に学 育準年 程ず相 る応	教用下 育に学 程に年 による 適	程の養知 教護的 育学障 課校害	程るを自 教主立 育と活 課す動		
小学部	人数	565	53	120	208	173	59	2	12	100	21	564
	構成比 (%)	49.6	4.6	10.5	18.2	15.3	5.2	0.2	1.1	8.8	1.9	100
中学部	人数	797	128	105	86	89	40	2	0	47	17	1222
	構成比 (%)	65.2	10.5	8.6	7	7.3	3.3	0.2	0	3.8	1.3	100
高等部	人数	448	94	174	107	84	5	2	0	77	20	927
	構成比 (%)	48.3	10.1	18.8	11.5	9.0	0.5	0.2	0	8.3	2.1	100
合 計	人数	1810	275	399	401	346	104	6	12	224	58	3289
	構成比 (%)	55.0	8.4	12.1	12.2	9.0	3.2	0.2	0.4	6.8	2.1	100

※ 「通信による教育を行う場合の特例による教育課程」では対象生徒数の記入がなかったため、表の項目から除いていた。

表2-6-4 教育課程の類型ごとの自立活動の週平均指導時数（小・中・高等部）

	教学 育年 課程 相 応に 準 ず る	教下 育学 課程 適 用 に よ る	の知 教的 育障 害課 程養 護学 校	る自 立 教 育活 動を 主と す	教学 育年 課程 相 応に 準 ず る	訪問 教育 に よ る	教下 育学 課程 適 用 に よ る	の知 教的 育障 害課 程養 護学 校	る自 立 教 育活 動を 主と す
小学部	3.1	5.8	4.6	14.3	1.9	—	4.0	7.8	
中学部	3.3	2.8	6.0	15.4	1.4	1.0	—	6.3	
高等部	4.8	6.8	4.8	17.4	1.0	3.5	—	8.3	